

令和 3 年度 日南市水道事業等経営審議会

令和 2 年度水道事業決算

令和 3 年 1 2 月 2 2 日
日南市水道局水道課



目次

令和2年度水道事業決算

1	総括	P	1
2	業務状況	P	2 ~ 3
3	建設事業状況	P	4 ~ 8
4	財政状況	P	9 ~ 14



吾田配水池からみた風景



令和2年度決算

1 総括

- ① 水道事業は、健康で文化的な生活を支えるとともに、社会及び経済活動において不可欠な事業です。
- ② 本市におきましては、公共の福祉を目的とし、安心安全な水道水の安定供給を実現させるため事業運営に力を注いでいます。
- ③ 令和2年度は、「日南市水道事業経営認可」に基づき、災害に強い水道施設を構築するため、吾田配水池系基幹配水管耐震化工事や老朽管の更新事業等を実施しました。
- ④ 給水人口の減少に伴い、水道料金収入も減少傾向にある中、水道水を安定的に供給するための水道施設の更新や適切な維持管理のための費用は必要であり、水道事業の経営状況はさらに厳しくなると見込まれます。将来にわたり、水道事業を健全に経営するためには、水道料金の改定が必要な状況のため、水道事業等経営審議会を開催しました。



2 業務状況

項目	令和2年度	令和元年度	比較増減	備考
行政区域内人口	51,485人	52,293人	△808人	
給水区域内人口	49,562人	50,221人	△659人	
給水人口	49,143人	49,830人	△687人	
給水戸数	25,017戸	25,087戸	△70戸	
普及率	95.5%	95.3%	0.2%	給水人口÷行政区域人口
総配水量	7,142,289m ³	7,078,575m ³	63,714m ³	
有収水量	5,987,381m ³	6,041,564m ³	△54,183m ³	
有収率	83.8%	85.4%	△1.6%	有収水量÷総配水量

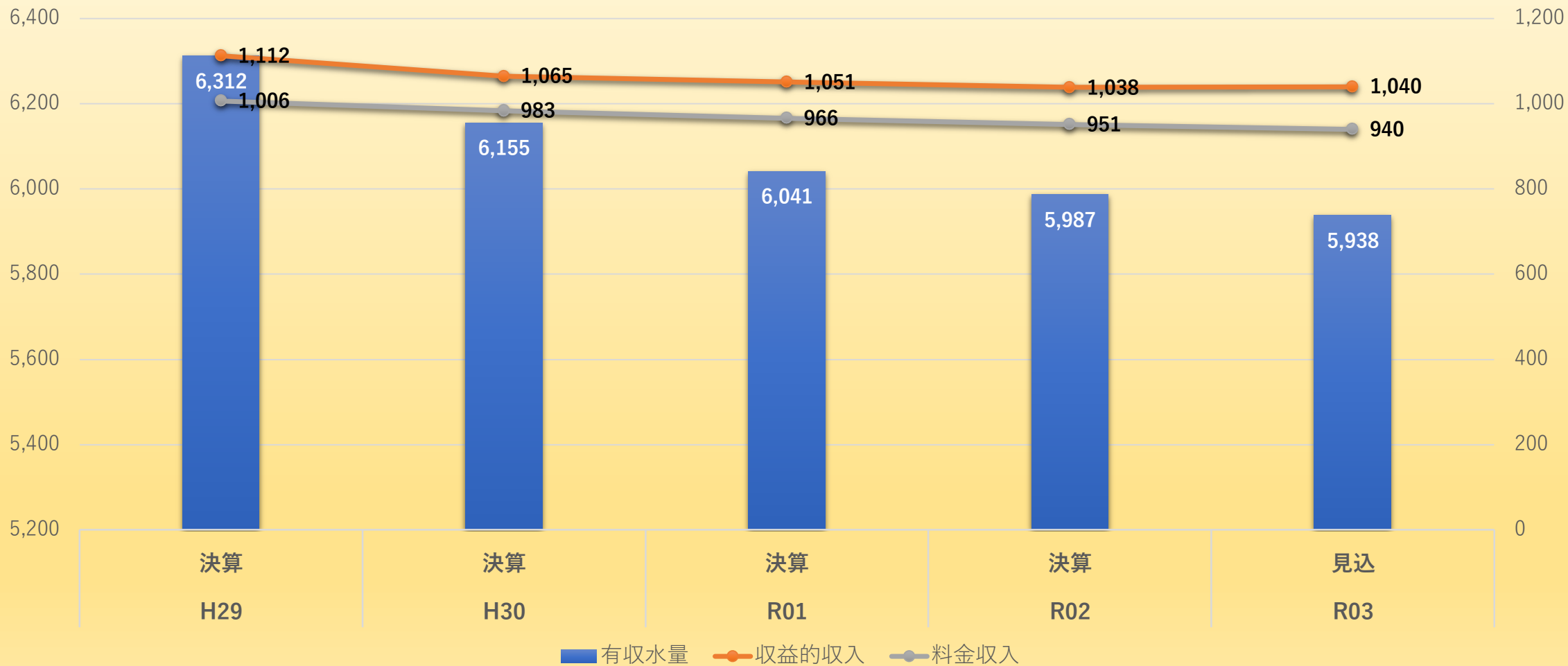


資料① 水道使用水量の推移と予測

有収水量
(千 m^3)

令和2年度決算においても、
有収水量、収益的収入、料金収入ともに減少

収益的収入
料金収入
(百万円)





3 建設事業状況

①老朽管更新・新設

工事	14件 ○倉迫山澄線配水管布設替工事（北郷町大藤乙） ○今町仮屋線配水管布設替工事（大字板敷） 他
事業費	122,718千円

②耐震管整備

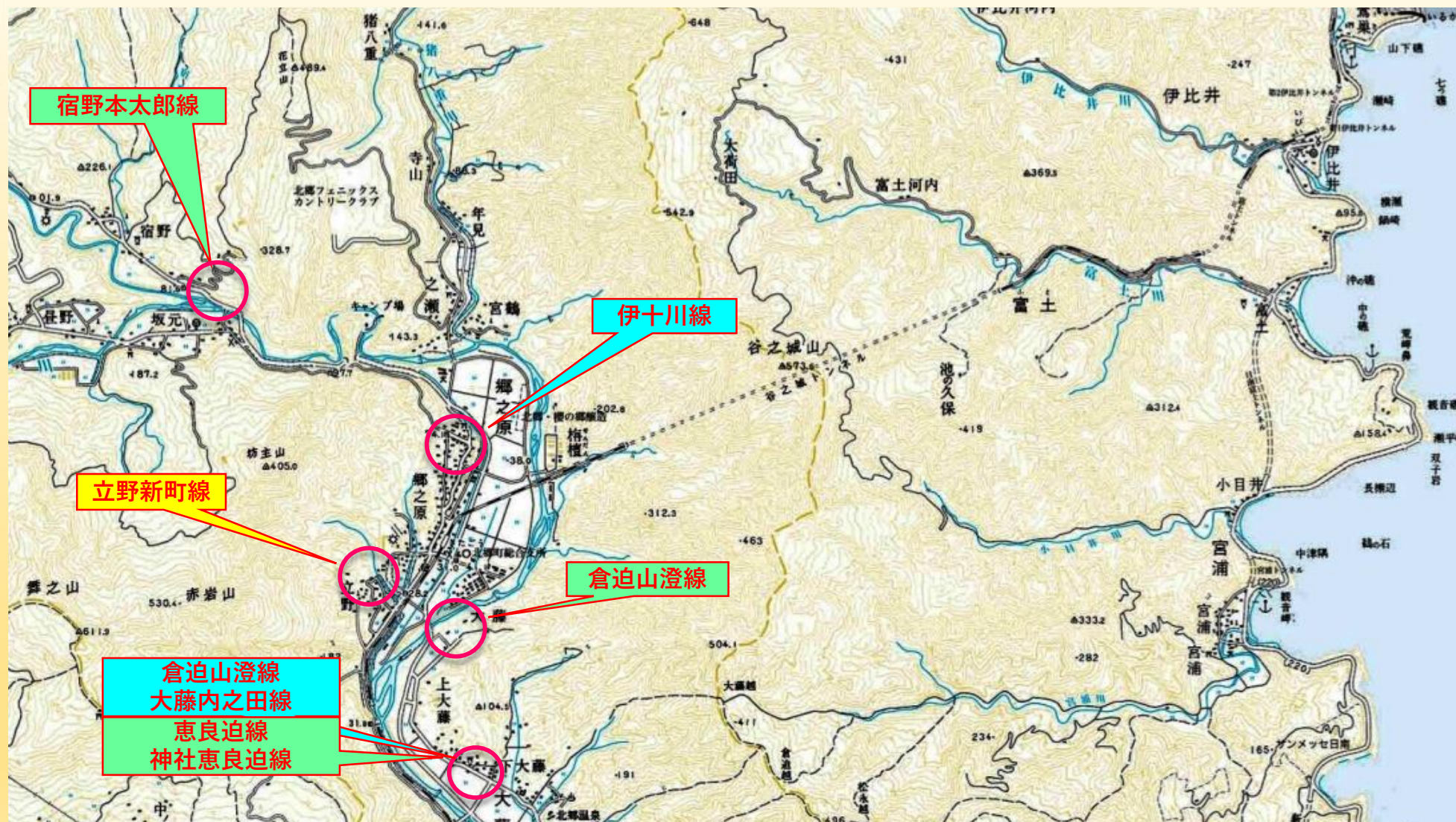
工事	10件 ○吾田配水池系基幹配水管耐震化工事（吾田西） ○川向東光寺線配水管耐震化工事（大字殿所） 他
事業費	470,259千円

③一般改良

工事	8件 ○日南高岡線他1路線配水管移設工事（大字益安） ○中央団地12号支線配水管布設替工事（南郷町中村乙） 他
事業費	14,398千円



令和2年度 水道事業実施箇所（北郷）



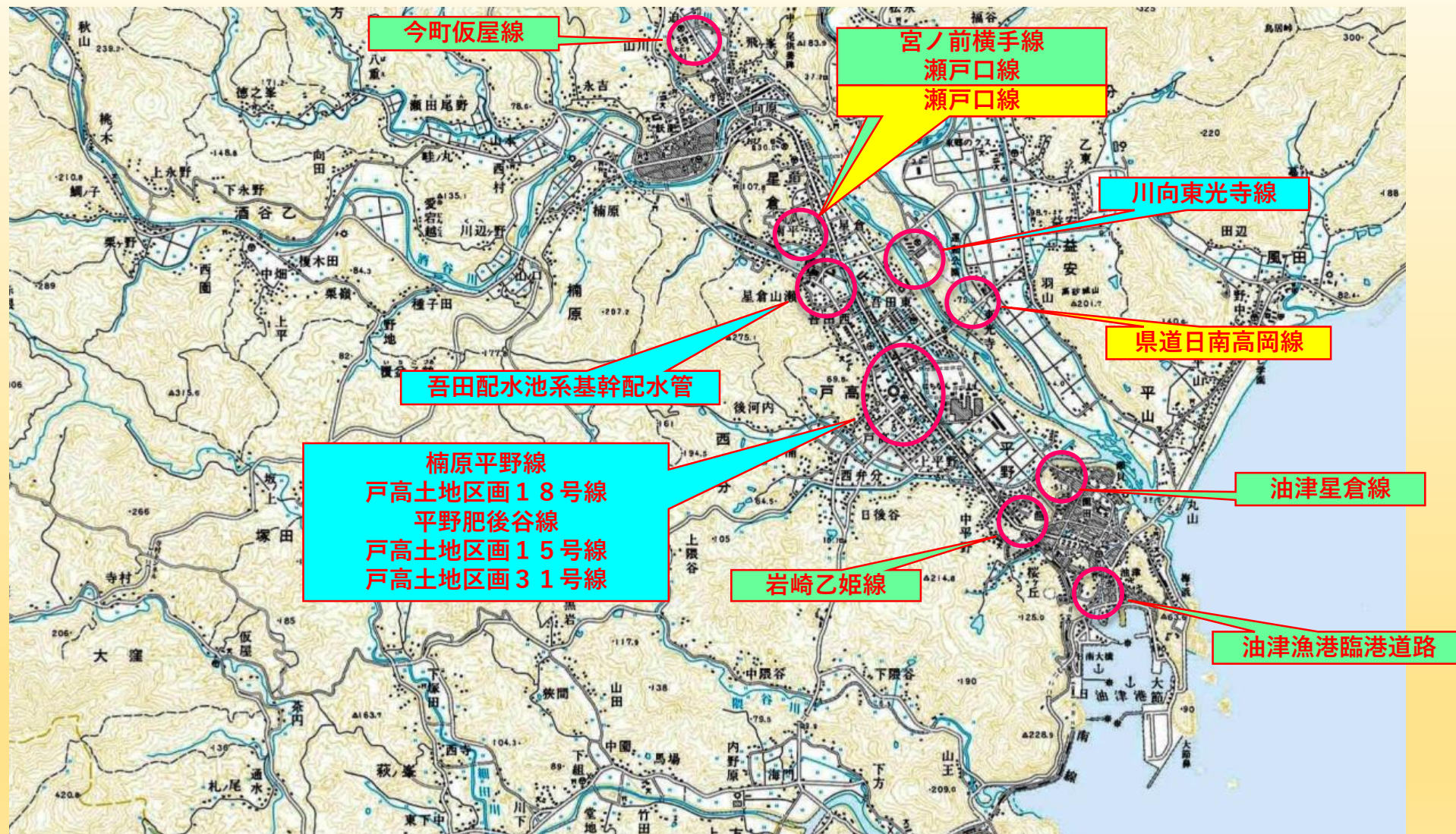
○一般改良

○老朽管更新

○耐震



令和2年度 水道事業実施箇所（日南）



○一般改良

○老朽管更新

○耐震



令和2年度 水道事業実施箇所（南郷）



○一般改良

○老朽管更新

○耐震



吾田配水池系基幹配水管耐震化工事



2 年度分

工事場所	吾田西
工事内容	ダクタイル鋳鉄管 $\phi 500$ 777.1m ダクタイル鋳鉄管 $\phi 400$ 26.3m 空気弁 7箇所
工事費	193,584千円

元年度繰越分

工事場所	大字星倉
工事内容	ダクタイル鋳鉄管 $\phi 500$ 538.5m
工事費	136,892千円





4 財政状況

●収益的収支(税抜)

区分	令和2年度	令和元年度	増減
収益的收入	1,038,240千円	1,051,196千円	△12,956千円
収益的支出	1,018,256千円	1,049,581千円	△31,325千円
差引(純利益)	19,984千円	1,615千円	18,369千円

- 主な増減理由
- ・収入～給水収益の減少
 - ・支出～減価償却費、資産減耗費等の減少

●資本的収支(税込)

区分	令和2年度	令和元年度	増減
資本的收入	492,343千円	318,166千円	174,177千円
資本的支出	1,117,213千円	837,769千円 翌年度繰越 45000千円	279,444千円
差引(収支不足)	△624,870千円	△564,603千円	60,267千円

- 主な増減理由
- ・収入～事業繰越による企業債の増加
 - ・支出～事業繰越による建設改良費の増加



●資本的収支不足額の補てん

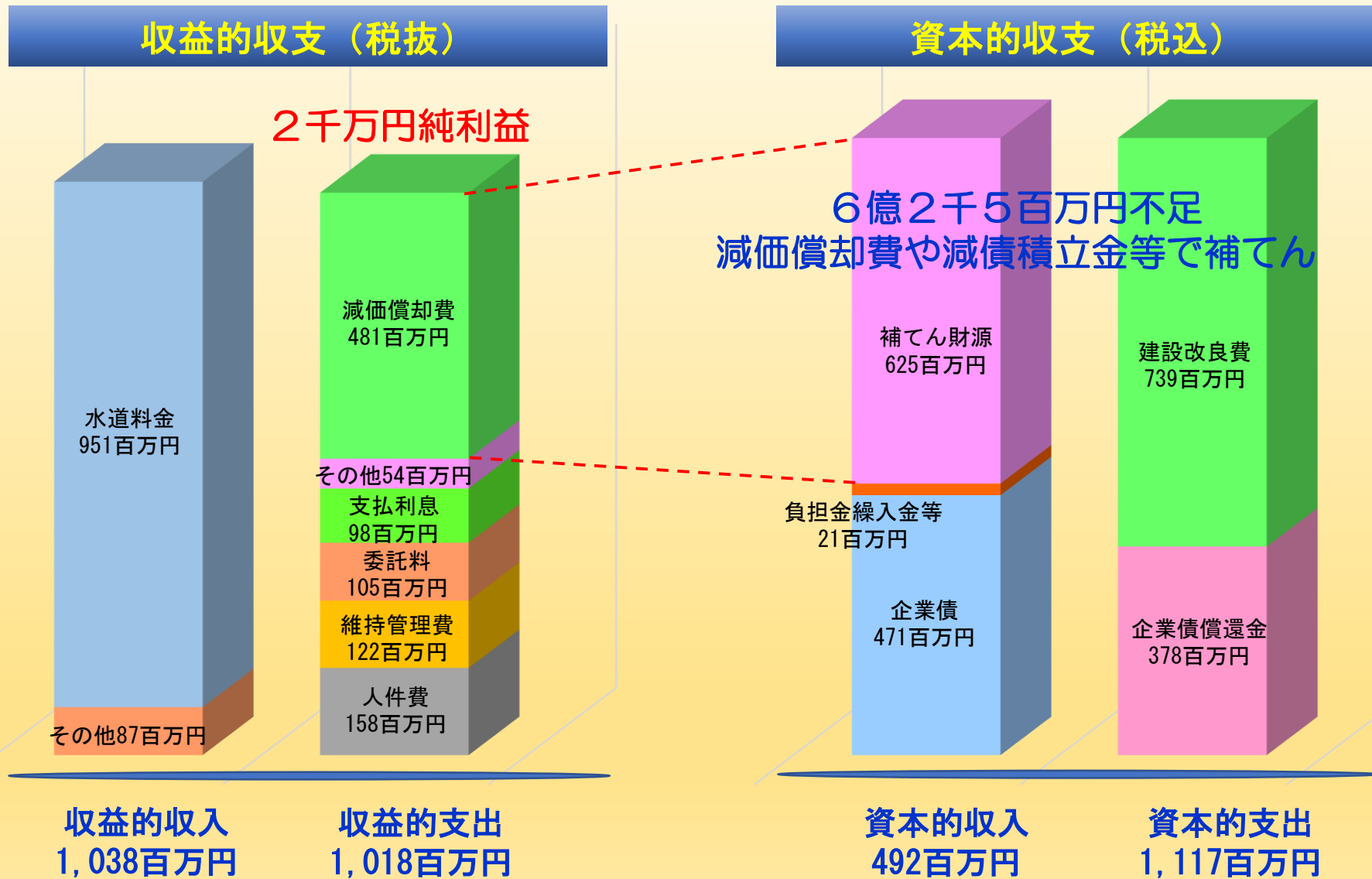
補てん財源	令和2年度	令和元年度
過年度分損益勘定留保資金		
当年度分損益勘定留保資金	434,236千円	455,445千円
過年度分消費税資本的収支調整額		7,283千円
当年度分消費税資本的収支調整額	64,151千円	35,907千円
建設改良積立金取崩額		
繰越工事資金	45,000千円	
減債積立金取崩額	81,483千円	65,968千円
合計	624,870千円	564,603千円

●積立金残高

	令和2年度末	令和元年度末
減債積立金	653,252千円	734,735千円
建設改良積立金	96,187千円	96,187千円
合計	749,439千円	830,922千円



資料② 収益的収支と資本的収支の状況（令和2年度決算）



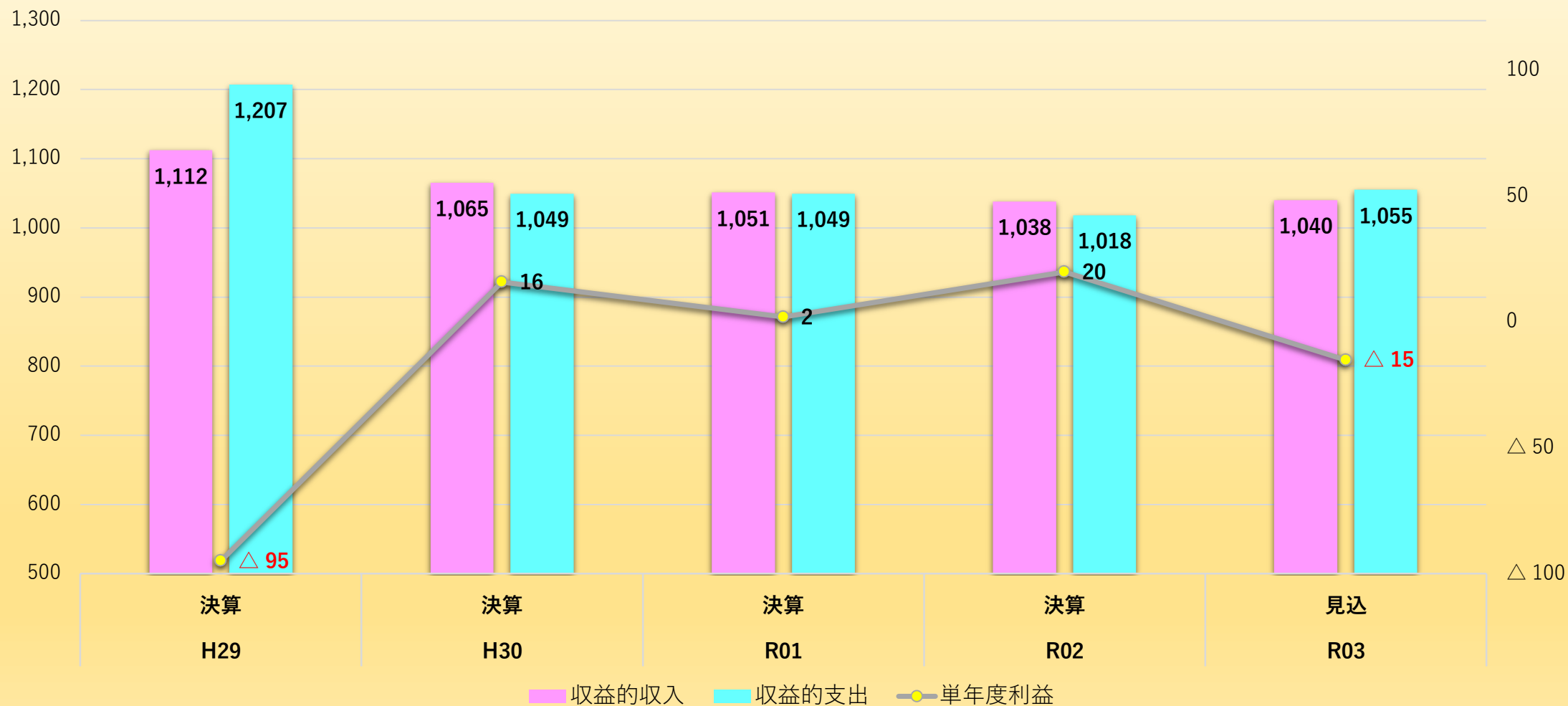


資料③ 収益的収支状況の推移と予測

収益定収入
収益的支出
(百万円)

令和2年度は約2千万円の純利益
令和3年度は損失発生の見込み

単年度利益
(百万円)

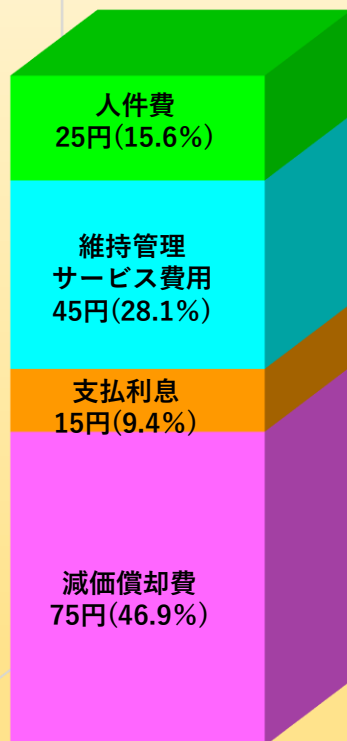




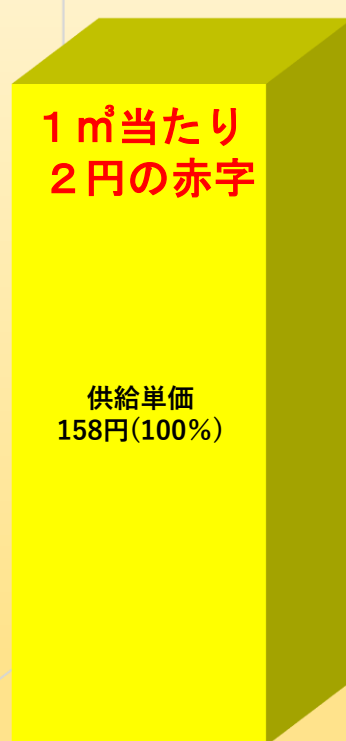
資料④ 水をつくる経費（給水原価）と供給単価の状況

令和2年度決算

水をつくる経費



水の売却単価

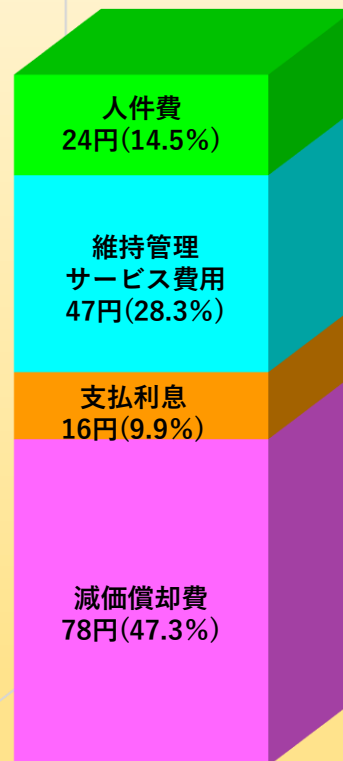


給水原価 160円

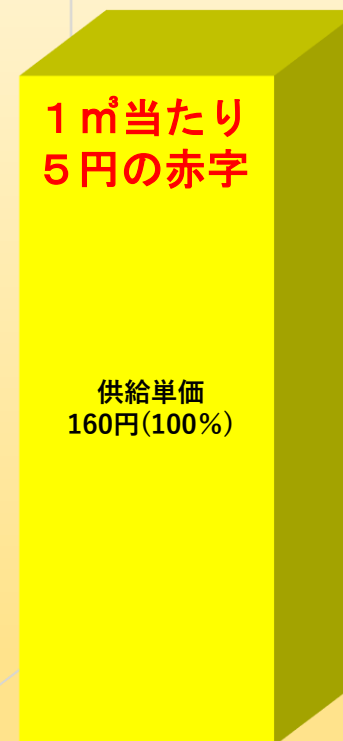
供給単価 158円

令和元年度決算

水をつくる経費



水の売却単価



給水原価 165円

供給単価 160円

水を提供するほど赤字が生じる状況



資料⑤ 企業債の状況

令和2年度末、企業債残高は約65億円
令和元年度の事業繰越により、令和2年度は借入額が増加

